



助産師を目指して

助産師とは

生命の誕生という奇跡。妊娠期から産後の産褥（さんじょく）期まで、母親と赤ちゃんにとって、とても大切な時間を一緒に過ごすことのできる素敵な仕事です。

助産師とは、「厚生労働大臣の免許を受けて、助産又は妊婦、褥婦（じょくふ）若しくは新生児の保健指導を行うことを業とする女子をいう」と保健師助産師看護師法で定義され、国家試験を受け、免許を取得します。

仕事内容は、女性の一生にかかわる健康生活を支援していく仕事です。お産の介助に限らず、妊婦の体調管理から、産後の母乳・乳児指導など、妊娠から出産、育児に至るまで長期に渡り身体と心のケアを行います。また、特徴的なのは、一般的な看護師は医療行為が許されていないのに対し、助産師は、正常分娩の場合に限り、内診などができることです。そのため、自身で助産院を開設することも可能となります。

鳥大医学部保健学科看護学専攻で学ぶ

本学医学部保健学科看護学専攻では、助産師を育成するため、指定された授業科目の単位を修得すれば助産師国家試験の受験資格を得ることができるカリキュラムとなっており、年間約10名の学生が助産師の資格を取得し卒業しています。

具体的には、助産に関する授業科目は2年次前期より始まり、看護学専攻の必修科目とは別に、11の授業科目を選択し、習得する必要があります。授業は、助産に関する知識習得、実技演習はもちろんのこと、女性の思春期における心身の課題の理解、

本学を目指す皆さんへ

本カリキュラム修了後、国家試験を合格した卒業学生は例年、ほぼ全員が助産師として社会へ旅立っていきます。また、助産師の現場を経て、再び本学の大学院で履修し指導者や研究者になる人、海外で医療・保健活動をしている人もいます。3つの資格（看護師・助産師・保健師）があるため、それぞれのライフイベントに応じた働き方ができることも魅力の一つです。

皆さんも助産師を目指してみませんか！看護学専攻で一緒に学べる日が来るのを、心より楽しみにお待ちしております。

皆生温泉

温泉が発見されたのは明治初めの1900年。その昔、皆生海岸は漁業が盛んで、浜辺で漁をしていた地元の漁師が、偶然にも浅瀬に泡が吹き出ているのを見つけたそうです。そこから1世紀以上、海中より湧き出す湯は、今では山陰屈指の名湯として語り継がれています。宿泊はもちろん、立ち寄り入浴、お食事などもおすすめです。

また、皆生温泉は日本におけるトリアスロン発祥の地でもあります。毎年夏に開催される大会は、全国からのたくさんの参加者で賑わいます。

寒い冬が終わり、気持ちの良い春が来ました。皆生温泉にゆっくりつかり、湯冷ましには皆生の海岸を散歩してみたいはいかがでしょうか。

（マップ：米子観光ナビ[米子市観光協会]より抜粋→）



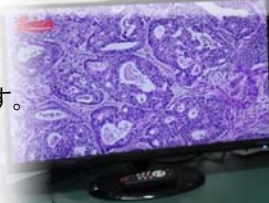


日本人の死因第1位である「がん」。これまで、多くの抗がん剤が開発され効果を上げてきましたが、がんの転移をくい止める薬はまだ実現していません。転移を防ぐことは、つまり「がん」との戦いに勝利することを意味します。

身体の細胞1つ1つに存在するリボ核酸(RNA)。このRNAには、タンパクを構成するアミノ酸配列情報を担うメッセンジャーRNAなど多くの仲間がいます。そのうちの1つ「マイクロRNA」には、タンパク質を作る量を調節する機能があり、がんではその調節機能が異常になっています。このことをヒントに骨肉腫という骨のがんにおいて、マイクロRNA-143(miR-143)を薬剤として投与し、その量を

補正することによって、がん細胞の肺転移を防ぐことをマウスモデルを用いて実証しました。

本研究室では、これら基礎研究を通してがんの転移メカニズムを解明し、それらを基盤とした「miR-143」などの新規治療標的分子の一つでも多く同定していきたいと思っています。同時に多分野との連携を進めながら、鳥取大学発の「がん転移治療薬・予防薬」の開発を目指していきます。



生命科学科 病態生化学
尾崎 充彦 准教授

(男子) バスケットボール部

目指すは、医学科の全国大会「全日本医科学生体育大会王座決定戦」。学年の隔たりなくアドバイスし合える環境で、メリハリある練習をしています。

男子バスケットボール部はこんな部活です

週3日の合同練習のほか、声をかけあつての自主練習や練習試合を行っています。

高校時代に際立って有名だった選手がいるわけではありませんが、日々の練習で技術を磨き、中国四国大会の優勝を勝ち取りました。限られた時間の中、締まった雰囲気練習を行いつつ、楽しむことも忘れない。

部のSNS(<https://twitter.com/torimedbasket>)にある写真たち



をご覧くださいとわかると思いますが、仲の良さが自慢です。一緒に楽しくバスケットに取り組める人を大募集しています! プレイヤーはもちろんのこと、マネージャー急募です。



マネージャーさん大募集!!

2017年の主な成績

中国四国医科学生バスケットボール大会 **優勝**
西日本医科学生総合体育大会バスケットボール部門 **ベスト16**

優勝

ベスト16

保健管理センター

医学部内に保健管理センターがあるのをご存知ですか?
このセンターでは、年間約3,000件の健康相談等に対応しています。

【場所】保健学科棟1階(臨床心理相談センターとなり)

【業務時間】月～金曜日午前9:00～午後5:00

※ただし、業務内容によって異なります。

【業務内容】

内科医による健康相談、こころの相談(精神科学学校医の相談)、応急処置、健康コーナーの設置など



看護師
松原さん

米子キャンパスの皆さんはとても真面目で素直な方が多いと感じています。その一方で、悩みを一人で抱え込んだり、自分の体調管理を二の次にしてしまう方が多く見受けられます。

医療人を目指す者として、自分の健康や心の健康についても一緒に考えてみませんか。

「体調が悪い」「悩み事がある」「身長・体重を測りたい」などなど…お気軽にお立ち寄りください(^^)皆さんのお越しをお待ちしています♪

サークル特集 vol.III

パッチアダムス

附属病院の小児病棟や院内保育園などへボランティアで出かけ、遊びを通じて子どもたちへ笑顔を届けています。同時に、子どもたちやそのご家族より、私たちが笑顔や元気をもらっています!!

こんな活動をしています(43名(男子14名、女子29名))

・水曜日:附属病院小児病棟

・月曜日:すぎのこ保育園

・その他:小児病棟の夏祭り(8月)、クリスマス会(12月)のお手伝い、学校祭(錦祭)の出店の際には小さな子どもたちへバルーンアートのプレゼント、米子市児童文化センターのイベント参加などを行っています。



活動をととして学ぶこと...

小児病棟の活動は、部員と子ども1対1で行い、活動前には入院理由などを考慮した活動計画を、活動後にはフィードバックを行います。

週に1度たった2時間の活動ですが、その時間が、入院している子どもと、その家族にとって少しでも安らぎの時間となるよう心がけています。子どもたちの笑顔の裏にある、つらい病気との闘い、長期入院による心の負担など、少しでも力になれるようにと日々の活動に取り組んでいます。

4月には「保育園体験会」を開催し、パッチアダムスを知ってもらう機会にしています。新しいメンバーとの活動が楽しみで是非ご参加ください!!お待ちしております!!



生協食堂

おめでとう
フェス
4月

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます!

4月、生協食堂では「おめでとうフェア」と題して、週替わりの満腹メニュー&デザートをご用意し、皆さんのご来店をお待ちしております。



第1週(4/2~6)

甜麺醬と味噌噌をベースとした合わせ味噌バルメザンチーズのコクがマッチ!

チキン味噌チーズグリル

編集後記

3月中旬、10年ぶりのインフルエンザにかかりました。トイレ以外は寝たきりの7日間。「歩くこと」「人と話すこと」「食えること」「お風呂に入ること」…日々の何気ない行動すべてに感謝することを覚えました。健康第一。元気あってこそ毎日ですね。(広報係Y)

発行/鳥取大学医学部(総務課広報係)

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

TEL:0859-38-7037 e-mail: me-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp